

MITSUMORI

株式会社 三森コーポレーション 2022 春号
014



キラリこの1台

■報告者：戸花 健二 ■車名：ホンダ S-MX ■型式：E-RH1

みんもの物語

ホスト：営業課 二階堂 純也
リサイクル部品

Shall we take a break?

軽自動車もキャンプ仕様に!クルマは今、ドライブ以外にも楽しめる時代へ

写真のモデルは、左から：鈴木(専務取締役) / 吉田 / 松岡 / 鈴木

Mitsumori's Staff 中古部品マイスター

三森コーポレーションが誇る中古部品に関する プロフェッショナルスタッフをご紹介します

佐々 哲也 TETSUYA SASA

主な業務：販売フロント
勤続年：20年

趣味・特技・ハマっている事、 お勧めスポットなど(具体的に)

最近の趣味は、マイガレージ(隠れ家)の整理&模様替えです。所有物が増えて狭くなってきたので、四輪バギーとボートトレーは売却しました・・・(涙)
ラジコン・キャンプ・スキーなど季節によって趣味が変わる為、新しい物がほしくなり結局物が増えてしまいます(笑)
又、美味しい日本酒探しにはまっております。

私の東北地酒ランキング!!

- ①秋田県 / 山本
 - ②岩手県 / AKABU
 - ③宮城県 / 玲瓏
- ※フルーティーで飲み口がいいので、
日本酒初心者の方にもお勧めです

今の仕事について、仕事で気に入っている事

入社してから、販売フロント一筋で業務をおこなっております。
お客様からお褒めの言葉、お叱りの言葉があり今の自分があると感謝しております。フロント業務は、電話越しでの対応になりますので元氣よく・正確に・丁寧に、を心がけております。常にお客様満足度向上を考え業務に取り組んでおります。

愛車と選んだ理由、気に入っている点

★新型ジムニーシエラ(JB74W)★ JA11V,JB23Wと乗り継ぎ、今回JB74Wとフレーム車ならではの走破性が癖になっています。又、改造パーツが豊富にあるため、自分好みのオリジナルの1台が造れるところが魅力です。
ジムニー以外にも最近、BMX仕様の50ccカブが気に入っていて…また手を出してしまいそうです(笑)

お客様へ

弊社の販売商品は、安心してご利用頂ける保証がついております。
『完全保証パック』～業界で最長の保証～
又、お電話・FAXでお問合せの他にLINE・WEBでのお問合せも可能なシステムツールもございます。お客様のお仕事状況に応じてご使用いただけます。
スタッフ一同、お問合せお待ちしております。



BMX仕様カブ



Mitsumori Corporation

株式会社 三森コーポレーション

〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切3丁目2番24号
部品のお問合せは：TEL 022-255-6564 FAX 022-396-1008
URL <http://www.3mori.co.jp>

S-MX



■報告者：戸花 健二 ■車名：ホンダ S-MX ■型式：E-RH1

キミのこの一台

この車の魅力や思い出

今回、私がご紹介する青春の1ページを飾った愛すべき1台は

ホンダ・S-MX RH1です。

ベースは初代ステップワゴンで、そのシャシーを切り詰め、前後2列のボディに。搭載エンジンはB20B型で2ℓの直列4気筒 DOHC16バルブエンジンです。最大出力は130PSで、4速コラムATのみが設定されています。

当時、自分が購入したのは、まさに若者受けするスタイルでローダウン仕様の通称「ホワイトストリーム」標準仕様より15ミリ車高が低く、マフラーもスポーティーなサウンドにチューンされ、かなり若者向けの車でした。(当たり前ですが当時は私も若かったんですよ…)

乗り心地はというと、あまりよくなかったというか・正直のり心地は悪かったですW

でも、そんな乗り心地なんてどうでもいいんです(バシッ)

それ以上に若者受けする内容が満載の車だったんですから。最も特徴的だったのは内装・インテリアです。前後共にベンチシートだったので座席を倒せば、フルフラットになっちゃうんです！フルフラットにするためだけにサイドブレーキを運転席の右側に配置しちゃうというこだわりが、どうしちゃったんだホンダ！？って感じて逆に好きでしたW

なんてたって完全フルフラットにすることができるので、車中泊でも最適なスペースを確保することが出来る優れたクルマでした。

という事で！当時は究極のデートカー、恋愛専用車などのキャッチフレーズで呼ばれておりました(笑)

車名の由来は、ストリーム・ムーバー・エックス又は未知数の意味)の略で、不思議な魅力を持つ車という事になっていたそうです。(その時は知らなかったです…)

皆さん、こんにちは。
今回はホンダ車一筋！の戸花が担当します。
ちなみに今の愛車はステップワゴン RK6 です。

という事は、走りがどうか、ハンドリングが何だとか、加速が・・というウンチクを述べるような走り重視の車とは真逆に、完全にポップで若者狙いのスタイリング重視！

それが魅力な車でした。当時はS-MXに乗っていた人もけっこう多かったですからね。

ドライブや旅行などに行く時はいつも乗り回して、たくさん思い出があります。そして何より一度も大きな故障が無く大変優秀だったことでした！！



新車購入から10年以上乗り続け、10万キロくらい乗りましたが、良い時もつらい時も共に過ごした忘れられない愛車でした。最終的にはボディの錆がだんだんとひどくなったのを機に乗り換え、弊社の解体工場解体をしてS-MXとはお別れをしました。たくさん思い出をありがとう！

最近、ステップワゴンがフルモデルチェンジして、初代のような見た目に原点復帰したとニュースが流れておりました。これを機に是非、当時のS-MXのような遊び心満載の兄弟車を発売してくれる事を願っております。今、車中泊ブームですから売れるかも？

以上 ありがとうございます。



こんにちは！
三森コーポレーションの
二階堂です



今回は
自動車リサイクル部品と
CO2削減の関係について
お伝えしたいと思います

最近「カーボンニュートラル」や
”SDGs”と言う言葉を
よく耳にするようになりましたね



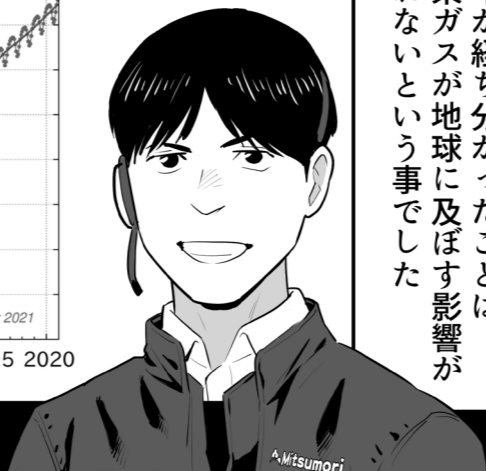
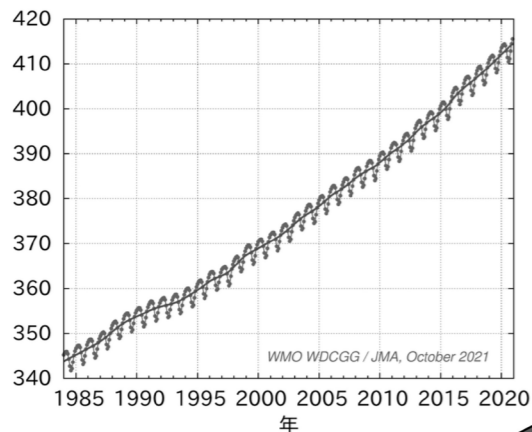
地球規模での
気候変動や異常気象の原因が
気温上昇であり

気温上昇の要因の一つが
二酸化炭素をはじめとする
温室効果ガスの発生にあると
言われています

世界を繁栄させた産業革命から
百数十年が経ち分かったことは
温室効果ガスが地球に及ぼす影響が
計り知れないという事でした

気象庁HPより

CO2濃度(ppm)

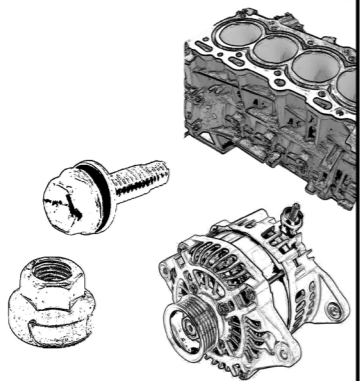


快適な環境を手に入れてしまった人類は
今すぐ温室効果ガスの発生を
抑制するという事が出来ずにいます

今、ヤフオクやメルカリ、フリマアプリなど
古着や本、家電製品など様々なものが
中古品として売買されています

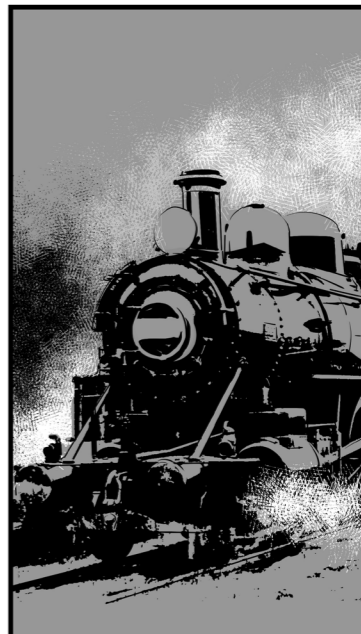


CO2を発生するからといって
便利な自動車を無くす事は
なかなか出来ませんが



車を長く乗ってもらいたい修理が必要な際は
なるべく中古部品やリビルト部品で
修理していただけたら
それでも十分にCO2削減に
貢献している事になります

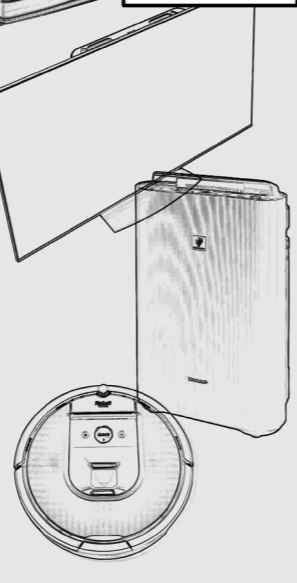
18世紀後半から19世紀前半
石炭や化石燃料をエネルギー原とする
産業革命が起こりました



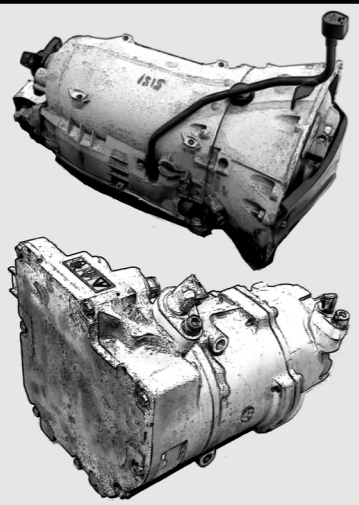
機械化が進み飛行機や
超高層ビルが誕生したのも
この時期で、荷物や人を運ぶ手段も
馬車から自動車に
変わったのもこの頃です



中古品といっても程度の良いものもおおく
購入する側にもあまり抵抗が
なくなってきたいるのかもしれない



例えば1800ccクラスで中古部品や
リビルトを使用し修理すると
新品を使用し修理する時に比べ



中古ミッションなら516kg
リビルトミッションなら368kgの削減
A/Cコンプレッサなら中古で43kg
リビルトなら39kgもの削減が出来ます



と、ひと息いかがですか? Shall we take a break?

～3分で読める休憩コラム～

軽自動車もキャンプ仕様に! クルマは今、ドライブ以外にも楽しめる時代へ

ニューノーマルといわれる今の時代、国内旅行へは“密”を避ける車の利用が増えたという調査結果があります。また行き先も「不特定多数が集まる場所ではないこと」を考慮するケースが多く、「キャンプ」や「自然鑑賞」などの“自然そのもの”を楽しむ旅や、「車から星空観察」や「ドライブインシアター」といったドライブと掛け合わせた楽しみが増えるなど、ドライブ以外のレジャー化が進んでいます。(2021年(株)SUBARUの意識調査より)

そんな中注目されているのが、ミニバンや1BOX、軽自動車を自分専用カスタマイズすること。「バンライフ」という言葉もできていますが、車の内装をご自分の好きなようにカスタマイズして、まるでもうひとつの家や部屋を持つように、車を暮らしの一部に取り入れるご提案です。ベッドを入れてアウトドアを快適にしたり、お昼寝スペースでピクニックを快適にしたり、カスタマイズのアイディアは無敵大。

少し前からやってきたキャンプブームも相まって、キャンプ仕様にする方も続出。小さくても十分快適に過ごせる上、運転しやすく、値段や維持費が抑えられるのも魅力。電源の確保は、もともとはポータブル電源の購入が必須でしたが、電気自動車の普及により、その必要がない場合があります。

300km～400kmほどの一充電走行距離性能を持つEV車は、車載のリチウムイオンバッテリーが3～4日分の家庭での電力消費を賄うことができるといわれています。それよりも消費電力が少ないキャンプでの使用であれば、EV車の電力は十分と言えるかもしれません。さらには、オートキャンプ場の中には、EV車の電気スタンド設備があったりと、EV車とバンライフの相性は抜群のようです。

また、今では、そのクルマの居住性が様々なサービスにも利用されています。例えば「移動託児サービス」。スーパーやイベント会場などに出向き、お客様のお子様を一時的に預かったり、病院に出向き、健康診断を受ける親御さんのために一時預かりを行うなど出番は様々。託児施設を作るよりもお手軽で需要は多いそうです。テレワーク需要も高まっており、車内をオフィス仕様にカスタマイズするのはもちろん、「オフィス仕様カーのレンタルサービス」も普及しつつあります。

クルマは今、移動の足としてではなく、レジャー化、オフィス化、居住化、施設化と、様々な用途に使えるひとつの空間となりました。愛車とともに、もっと豊かなカーライフが送れる時代がやってきたといえるでしょう。愛車の無限の可能性を考えるだけで、わくわくしてきますね!



上記の記事は、自動車業界専門コンサルティング会社「株式会社チームエル」様のご協力によりご提供いただいています

